学　　校　　名	小金井市立南小学校	実施年月日	平成１７年　２月１８日
指　　導　　者	林　那々子	授業コード	Ｂ－１

学　　年	１学年	教　　科	国語
単　　元　　名	どうぶつの赤ちゃん		
単元の目標	○　興味をもって、ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの違いを考えながら読む。 ○　動物クイズの問題文を書く。		
単元の指導計画	全１１時間扱い		
本時のねらい	・２種類の動物について生まれたばかりの様子、大きくなっていく様子の違いに注目しながら読んできたことを振り返る。 ・ほかの動物の特徴をとらえ、クイズを作る。		

本時の学習活動の展開

導　　入	【１】 今まで、ライオンとしまうまの違いを考えながら読んできたことを振り返る。 ・内容を考えながら、音読する。 【２】 前時に作った「ライオンですか、しまうまですか」クイズをいくつか紹介し、ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いを確認する。 ・ＨＰ上の動画を見せる。
展　　開	【３】 ほかの動物についてのクイズを出題し、クイズ作りへの意欲を高める。 ＜問題＞ヒント１：生まれたときはヤギぐらいの大きさです。 ヒント２：体にはもようもついていて、お母さんにそっくりです。 生まれてすぐに自分で立ち上がります。 ヒント３：大きくなると、先生の背より長くなるところがあります。 ・ヒントをカードにして掲示し、クイズ作りの参考にさせる。 【４】 答えを考えさせ、正解をコンテンツで見せる。 ・動画を見た感想を聞く。 ・動物の特徴をとらえたクイズのやり方を確認する。 【５】各自用意した本、図鑑等を見ながら、動物クイズを作る。 ・机間指導をして、クイズのヒントの作り方について個別に対応する。
ま と め	【６】次時にクイズ発表会を開くことを知らせる。 ・２～３人の児童に出題させて、問題の出し方・答え方をつかみ、次時への意欲を高める。

デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	ライオンやしまうまが、生まれたときはどんな様子なのか、どのようにして育っていくのか、ということに注目して学習してきたことを振り返るために利用する。ライオンの赤ちゃんは、成獣からは想像できないほど可愛らしいということや、しまうまは赤ちゃんのときからしっかり走っているということ姿を見せることで、２つの動物の違いを強調したい。 キリンの赤ちゃんが生まれたばかりのときの様子をとらえ、動物クイズの一例とするために利用する。赤ちゃんの立ち上がる様子などから、写真だけではわからない赤ちゃんの愛らしさやたくましさを感じさせたい。